



できることから始めよう

次はあなたも エコライフ

環境課
内線253

エコクッキングってなあに？

地球温暖化を防ぐために、私たちに何ができるでしょう。まずは、私たちの生活に欠かせない食生活のいろいろな場面でのんなエネルギーが使われているのかを知って毎日の生活を見直し、ちょっとした工夫でできる食の省エネから始めてみませんか。

そこで「エコクッキング」では、買い物、保存、調理、片付けを通して、時間も省けて家計も助かる食の省エネ生活を提案します。

①買い物編 ▼産地をチェックして、旬の食材をできるだけ地元で消費し、食べ切れる量だけ買う ▼近くのお店へは徒歩や自転車で行く ▼容器や包装材料なども気にする ▼マイバックを利用する

②保存編 ▼冷蔵庫は壁から離

して設置する ▼中は整理整頓し、無駄なく冷やす ▼冷蔵庫で冷やさなくてもよい物は、風通しのよい冷暗所で保存する

③調理編 ▼食材は丸ごと使う ▼野菜の切り方を工夫して他の使い道も考え、なるべく使い切る ▼お湯を沸かすときは給湯器を利用する ▼野菜の下ごしらえに電子レンジを使う ▼鍋の大きさも考慮し、鍋底の水気を拭き取ってからコンロに掛け、適度な火加減で調理する

④片付け編 ▼お皿の汚れを拭き取ってから洗う ▼生ごみはネットなどで水気を取って捨てるか、堆肥として利用する

このように、毎日の食生活を環境面から考えて、あなたなりのエコクッキングを、できることから始めてみてください。
■執筆 県地球温暖化防止活動推進員・柘植理恵子さん（土岐津町）

あのときときは

今は昔、土岐市が市制50周年を迎えた年。世間では、京成電鉄など3社が株式会社オリエンタルランドを設立しました。今月は52年前の昭和35（1960）年の土岐市を振り返ります。

昭和35(1960)年 「土岐市広報」より

新消防自動車が土岐津地区団に

〈7月5日号掲載〉

トヨタトラック（FH24型ベース）で、120馬力の新式消防自動車1台を土岐津地区団に導入しました。この消防自動車は1959年に登場したもので、長い間全国各地で使用されていたようです。



曾木町全戸に有線放送始まる

〈11月25日号掲載〉

曾木町民待望の有線放送電話の開通式が行われ、各戸に備え付けられた電話機のスピーカーから流れる声に、喜びを分かち合いました。

有線放送電話は、1960年代から70年代にかけて、一般の加入電話が普及していない地域のために、市町村の音声通話などを行うためのものでした。曾木公民館の階上に設けられた放送室には、電話交換機1台（30回線・1回線10戸宛て）とレコーダー、テープレコーダーの付いた放送機1台が設置されていました。

